

音威子府村(おといねっぶむら) ～北海道で一番小さな村～



音威富士スキー場

初心者から上級者まで家族で楽しめるコースとなっています。極寒の音威子府村ならではのさらさらパウダースノーが自慢のスキー場です。

スキー場ロッジ直結の宿泊施設「青少年宿泊研修施設トムテ」もあります。（スキーシーズン以外の宿泊も可）また、大正初期に発見された常盤鉱泉と言われる温泉を楽しむ施設「住民保養センター天塩川温泉」もあります。



エコミュージアムおさしまセンター

彫刻家 故 砂澤ビッキ氏の作品が展示

音威子府村立旧箴島小学校の校舎を改修した施設で、多くの村民が持つ母校としての顔を持ち、箴島地区の歴史を、後に伝える建物です。村民だけでなく、観光に来た人も歴史を感じられる素敵な建物なので、ぜひ行ってみてください。

北海道命名の地

この場所は北海道の名付け親とも言われる幕末の探検家松浦武四郎が天塩川流域を調査した際に、この地でアイヌの古老から現在の北海道名称の発想基となる話を聞いたとされています。現在は、天塩川のカヌーポイントの一つとなっていて、自然豊かなスポットにもなっています。ぜひ、足を踏み入れてみてください。

写真引用元：音威子府村役場

